13 年目の解雇争議、いまだに解決せず！

日本航空　株主の皆様へ

解雇の理由「余剰人員」は

真っ赤なウソ！

超過削減を隠し続けた JAL と国交省！

JAL が 2011 年 7 月に航空法に基づいて公表した「安全報告書」において、2010 年度末（2011 年 3 月 31 日）の時点で、更生計画の目標削減人数を 735 人（パイロット 269 人・客室乗務員 466 人）も超過していた事実が明らかになりました。安全運航上、確保すべき乗務員数が下回ることを知りながら 165 名を解雇したということです。

JAL も国交省もこの事実を隠し続けてきました。双方とも説明責任を果たすことはもちろん、不当解雇を認めて謝罪し、即刻争議の全面解決を図る責任があります。

2023/5/22 交渉

組合　人財戦略部は、会社が「人員削減数を隠し続けてきた」ことを知っていたのか？

会社　お答えできない。

組合潰しの解雇！　整理解雇に名を借りた指名解雇！

JAL は破綻後、更生計画の期限である年度末（2011/3/31）を待たずに大晦日に 165 名を解雇しました。年度末まで待てば、更生計画上、余剰人員がいないことが明らかになり、解雇することができなかったからです。余剰人員だとウソをついて解雇を強行したのは、解雇の狙いが不当労働行為、「モノ言う労働者の排除、労働組合の弱体化」にあったからです。

東京都労働委員会で全面解決を求めています！

被解雇者労働組合（JHU）は、都労委に JAL と国交省の不当労働行為について救済申立てをし、現在調査が行われています。これまで 11 回にわたる JHU との交渉で、JAL は解雇争議の解決に向け誠実な対応を全く行っていません。JHU は都労委での争議全面解決をめざしています。

■JAL 事件　：①団交拒否/不誠実交渉、②組合間差別（昨年、JAL が争議解決案として「業務委託契約」を提案する際、JHU への提案を社内 2 労組より遅らせた）

■国交省事件：団交拒否